

新型コロナウイルス感染症の感染を防止するため、イベントなどを中止する場合があります

中央公民館からの お知らせ

申込み・問合せ ☎5509・1221



バス乗車
*コース:JR秋川駅→(バス)
↓市民球場前→草花公園→平井川河原→廣濟寺→二宮考古館→二宮神社→お池→JR東秋留駅(約4.5キロメートル)
*対象:市内在住・在勤の方
*定員:15人
*春②コース:民話を聞きながら湧水を訪ねて野辺・小川

*日時:4月8日(水) 午前9時〜正午
*雨天の場合は4月16日(木)
*集合場所・時間:JR東秋留駅 午前9時(時間厳守)
*コース:JR東秋留駅→二宮神社・お池→前田耕地遺跡→法林寺→熊野神社→八雲神社→普門寺→JR東秋留駅(解散)(約5キロメートル)
*対象:市内在住・在勤の方
*定員:15人
*持ち物など:飲み物、雨具、バスタ代、筆記用具、歩きやすい服装・靴
*申込み方法:3月16日(月)から電話か直接窓口で申し込んでください。

生きがい やりがい 支えあい 介護支援ボランティア参加者募集

市では、高齢者の社会活動と地域貢献を奨励・支援し、ボランティア活動を通して、高齢者が生き生きと元気に暮らすことが出来る地域社会をつくることを目的に介護支援ボランティア制度を実施しています。

この制度では、介護支援ボランティアに登録した方が、介護保険施設などで行ったボランティア活動に対して、1時間につき1スタンプを付与します(1日2スタンプまで)。翌年度に申請することで、たまったポイントを1ポイント当たり100円の交付金に換金できます(各年度の換金限度額は5千円)。
*対象 市内在住の65歳以上の方で要介護認定や要支援認定を受けていない方
*活動に当たり、ボランティア保険に加入します。
*活動方法 希望日時、場所、活動内容で、あきる野市社会福祉協議会が調整します。
*受入機関 市内介護老人福祉施設13施設と通所介護施設7施設など
*申込み あきる野市社会福祉協議会(☎595・9033)
*問合せ 高齢者支援課高齢者支援係

新型コロナウイルス感染症に関する情報

「あきる野市メール配信サービス」登録受付中
市では、新型コロナウイルス感染症に関する情報、防災・防犯情報など、随時、メール配信を行っています。配信を希望される方は、事前登録が必要です。登録された全ての方に「広報あきる野」の情報を配信します。

登録の流れ 次のコードを読み取り、内容に沿って登録してください。
登録用コード
QRコード



※迷惑メール設定をしている方は「@sg.m.jp」からのメールを受信できるように設定をお願いします。
*問合せ 市長公室

版画家が見たあきる野



アーティストスタジオ五日市に招いた版画家の寄贈作品の企画展を中央図書館で開催します。招へい者が見たあきる野の風景を中心に、6作品を展示します。

▽期間 3月18日(水)〜30日(月)
▽図書館開館時間内
▽会場 中央図書館
▽出展者(招へい年度) 河合真由子さん(平成20年度)、山成景子さん(平成23年度)、ヤナ・ポップさん(平成26年度)、仲森仁さん(平成28年度)、李彦葵さん(平成29年度)、所彰宏さん(平成29年度)
▽問合せ 生涯学習推進課生涯学習係(直通558・2438)

生涯学習推進課 文化財係の事務所移転、五日市郷土館・二宮考古館の休館日の変更

生涯学習推進課文化財係が4月1日から五日市郷土館内に移転します。また、五日市郷土館、二宮考古館の休館日を次のとおり変更します。
▽五日市郷土館(旧市倉家住宅を含む)
●休館日:月曜日(祝日の場合は翌日)
●開館時間:午前9時30分〜午後4時30分
▽二宮考古館
●休館日:月曜・火曜日、祝日(火曜日が祝日の場合は翌日も休館)
●開館時間:午前10時〜午後4時

▽問合せ 五日市郷土館(☎596・4069)
二宮考古館(☎559・8400)

高齢者げんき応援事業

高齢者在宅サービスセンターでは、市内在住の65歳以上の方を対象に事業を実施します(受付時間:平日午前9時〜午後5時)

※新型コロナウイルス感染症の感染を防止するため、各種教室などを中止・変更する場合があります。
▽絵手紙教室
●日時:4月から毎月第1月曜日 午前10時〜11時30分(祝日を除く)
▽健康麻雀(中・上級) 指先を使うことで認知症予防にもなります。楽しく健康的に麻雀をしましょう。
●日時:毎週火曜日 午後1時〜3時
●定員:16人(申込み順)
●費用:1回500円
▽ノルディックウォーキング
2本のポールで足腰に負担をかけずに運動効果をあげるウォーキングです。
●日時:毎週金曜日 午前10時〜正午
●講師:あきる野市ノルディック・エクササイズ・ウォーキング連盟
●持ち物:飲み物、タオル
●費用:1回500円、貸しポール初回無料、2回目以降300円

萩野センター

(☎5500・2722)

五日市センター

(☎5333・0220)

森林レンジャーがゆく (98)



人間トラップ



駆除したアライグマ

子どものころ、下校途中のペットショップで展示品のようにディスプレイされていたかわいい動物を見に行くことが度々ありました。珍しく美しい海外の動物がそろっていました。昔は、自分も一目ぼれしてしまい何種類か購入したことがあり、亡くなるまで飼っていました。現在も、信じられない程の種類がペットショップで販売されています。私は、自然保護のために外来種を駆除することが多く、海外の生き物を購入したあの頃の自分とのギャップについて考えることがあります。許可や申請などをクリアして販売された生き物たちでも、逃げ出したり、無責任な飼い主が見捨てたりする例はこれまで非常に多かったと思われます。事実、現在もその問題が続いています。人間の無責任な行動により、被害を受けるペットやもともとその地に存在する自然の生き物は本当に気の毒です。ペットから外来種に変わった生き物を駆除するのは、もちろんかわいそうですが、何もしないで在来種が絶滅していくこともかわいそうに思います。駆除をしてもしなくても、自然保護活動の後味は悪いのですが、行動を起こすしかないのが現状です。

残念ながら、何かを犠牲にするという選択しかありません。外来種であろうと命を奪うという点でモラル的に正しいことであるとはいい切れません。人間の気まぐれやわがままから生まれる過ちは世の中を住みにくくすることが多いため、事前によく考え、飼うと決めたら途中で生き物を捨てるようなことはやめましょう。やはり、罪のない生き物たちはみんなかわいそうですから…。春は、たくさんの生き物が繁殖のために活発化します。それらへの外来種の影響を減らすために保護活動を行うこの頃のお話です。(パプロ)